

そこら

第7号

東近江の
いいとこ
いいひと
見つける本

調

高校生ライターが調査！

名字に潜む東近江クロニクル

「青春を本に残そう」。

その呼びかけに集まった私たち高校生ライター。

クラスに一人はいる珍しい名字。

東近江市全体では、どんな名字があるのか……。

そんな私たちのささいな疑問を解決すべく、

今回、名字調査を行いました。

私たちがそくら高校生ライターです！

ふるたまなえ
古田 愛恵

おくらゆうや
小椋 悠矢

むらまつ たくま
村松 琢真

かわにし みさ
川西 未紗

ぜんふく やあま
善福 耶天

①趣味
②特技
③キャッチコピー

①音楽鑑賞
②料理
③ねこと
いぬのあいだ

①読書
②お裁縫
③見た目は昭和、
生まれは平成、
生きる時代は令和です

①ドラムと読書
②タイピング
③今日も平和に
生きています

①お絵かきと
ギター
②早食い
③運動神経が悪い
アウトドア派

①ボルダリングと
ピアノ
②数学
③八幡高校の
異端児

そくら

第7号

CONTENTS

1 高校生ライターが調査！

名字に潜む東近江クロニクル

- 9 ひがしおうみで こだわりのコーヒーをいかが？
- 12 まちのいつものおみせやさん
- 16 ひがしおうみ朝夕景 1
- 17 雨もり (雨×子守り)
- 20 はじめての農家民泊
- 22 ひがしおうみ朝夕景 2
- 23 私の好きな東近江市を届けたい！
- 26 僕たちトムソーヤの冒険！永源寺から琵琶湖までの川下り編
- 30 石段くらべ調査隊
- 32 市原野のまんどろ火祭り
- 34 鈴鹿10座最高峰の御池岳を登る 愛知川の源流を求めて
- 38 日登美美術館 美と美味は日常の中に
- 40 東近江 MAP

まずは能登川博物館へ

そもそも、名字っていつからできたの？どうやって決まったの？
基本を教わるべく、東近江市の知恵袋、能登川博物館を訪ねました。

能登川博物館学芸員、飯田充さん。

東近江市には、田井中さんや鯉江さんなど、地名や歴史に関わる名字の方がたくさんおられますね。名字を知ると、土地の歴史を知ることにつながり、面白いですよ。

名字を調査するにあたって基礎知識を確かなものにすべく、私たち高校生ライターは能登川博物館学芸員の飯田充さんにお話を伺いました。

お話によると名字のルーツは**貴族**が天皇より授かる「姓」でした。しかし、同じ姓を持つ貴族が多くなりすぎてしまったため、姓に領地の場所や職業の字からとった「名」をあわせて、○○に領地を持つ△△さん⇓○○さん（伊勢に領地を持つ藤原さん⇓伊藤さん）のように呼び分けるようになり、これが名字の由来となったそうです。その後は武士や貴族などの位の高い人が主に名字を名乗っていましたが、明治時代になって戸籍制度が作られてからは農民や町人なども名字を名乗るようになりました。

名字には当時の地名や地形、人名や伝説などその土地の歴史が反映されていて、名字のルーツをさかのぼることは、自分のルーツをさかのぼることにつながると知りました。

東近江市の名字調査開始！

step1

打合せ

どうやって調査をするか、打合せ。電話帳で市内の名字をくまなく調べ、その中からいくつか深掘りすることにしました。

自分の名字のルーツが、東近江市にあるみたいなんやけど。

古田さん

小椋くん

step2

本や電話帳で調査！

電話帳の膨大な情報量に苦戦しつつ、協力しあってひたすらリサーチ。

川西さん

この名字、はじめてみる！

村松くん

step3

取材へGO！

小椋

今回取材することになった名字はこの2つ！

皇

深掘りする名字は、「小椋」と「皇」の2つにしました。「小椋」はメンバーの一人の小椋くんのルーツを知ることになります。「皇」はどうやら市内のとあるお寺に関わりがありそう。どんな出会い、結末が待っているのか。取材スタート！

善福くん

高校生ライターが、ページをめくって調査！

東近江市の名字TOP10！

1 田中 225	4 西村 172	8 田井中 116
2 中村 195	5 山本 164	9 西澤 116
3 山田 175	6 村田 153	10 辻 114
	7 小林 136	

「ハローページ 2019. 5 個人名」調べ（単位：人）

蛭谷町、君ヶ畑町の小椋さんたちに、会ってきました。

全国の小椋さんと親交があります

■小椋重則さん（蛭谷町）
蛭谷町にある木地師資料館。ここを管理する蛭谷町自治会長の小椋重則さんによると、全国の「小椋」姓のルーツは、多くの場合東近江市にあるということでした。木地師資料館には木地師に関する貴重な資料や木地製品がたくさんあります。これらの木地製品は、全国の木地師が東近江市に送ってくださったものだそう。今でも、小椋重則さんは、全国の木地師の人たちと、同じ土地にゆかりがあるもの同士として、深い交流があるそうです。毎年海の日には、惟喬親王祭が開かれ、大勢の木地師に関わる人たちが来られます。

木地師資料館ではさまざまな木地師の関係資料を展示しています。お話を伺ったのは、小椋重則さん。

小椋の名字が少しプレッシャーだったことも

■小椋昭二さん（君ヶ畑町）
今回、お話を伺った小椋昭二さんは、木地師になって25年だそうです。が、先祖代々木地師だったのではありません。そのため、小椋という名字で木地師であることに最初はプレッシャーを感じていたそう。小椋昭二さんは、木地師の仕事を独学で学ばれました。木地師の仕事は続け、今ではプレッシャーを感じず仕事に打ち込めるようになったそうです。現在は、この地で木地師として生計を立てている人は3人おられます。遠くから、わざわざ買いに来られるお客さんもいるそうです。

小椋昭二さんに、轆轤を使って木地師の体験をさせてもらいました。繊細な作業で、力加減がとても難しかったです。



小椋
おぐら

惟喬親王に深い関わりがある名字

そこら高校生ライター仲間の一人、小椋くん。彼曰く、どうやら自分の名字の「小椋」は東近江市の奥永源寺地域の発祥らしい。そこで、彼の名字のルーツを東近江市観光ボランティアガイドの高田清さんに伺いました。

高田さんは、この名字には、**親王**という人物が深く関わっていると教えてくれました。惟喬親王は西暦844年、第55代文徳天皇の第一皇子として誕生するも、6歳のときに異母弟の惟仁親王（第四皇子）が皇太子になったため天皇になることができませんでした。即位の機会を失った惟喬親王は、京都を出て近江八幡宮ヶ浜から愛知川を上流に向かい、奥永源寺の小椋谷で住まいを構えたと言いつづけています。その際に、側近の家来に「小椋」姓

と「大蔵」姓を与えたことが名字のルーツと言われています。また、惟喬親王は住民に「轆轤」の技術を教えたとされています。轆轤とは、木を加工するときに使う道具であり、それを使って木地製品を作る人々は**木地師**と呼ばれています。その後、木地師は木を求めて全国に散らばり、名字をつける際にゆかりがある「小椋」や「大蔵」を多くの人々が選びました。今でも小椋谷は、全国の木地師の人たちから自分たちの名字のふるさととして大切にされています。



東近江市観光ボランティアガイドの高田清さん。





浄願寺住職の皇紀夫さん。



聖徳太子伝説のあるハナノキに由来する名字

皆さんは、「皇（すめらぎ）」という名字をご存じですか？

電話帳で見つけたこの名字、インターネットで少し調べてみると、東近江市北花沢町の浄願寺というお寺が発祥と分かりました。

私たちは、この名字の由来などを伺うために、浄願寺住職の皇紀夫さんを訪ねました。

皇さん曰く、「皇」という名字は、浄願寺の山号※である「皇華山」が元となっているそうです。その「皇華山」には名前の由来となる次のような伝説が伝わっています。

その昔、**聖徳太子**が愛知川から百済寺へ向かう途中、今の北花沢町でお弁当を食べ、その際、お箸を地面に刺しました。すると、そこから**ハナノキ**が生えたそうです。

今では、その木は国の天然記念物に指定されています。ハナノキは、

カエデ科に属する落葉高木です。開花期は3〜4月

で、新芽が吹く前に赤い花を咲かせるのでこの名があります。この木は地域の人々に大切に育てられてきました。皇さんは、木の周りは聖域で、裸足でなければ入れないと教えられたと話してくださいました。また同様に、南花沢町にも聖徳太子が帰りにお箸を刺し、木が生えてきたという伝説があるそう。

地域一帯には、聖徳太子伝説が広がっていますが、伝説の真偽は不明です。しかし、町内の人々はその伝説を信じており、県外へ出ている方々ほど、伝説への関心が高いようです。この伝説は、地域にルーツを持つ人々にとって大切な、故郷への思いを感じるものであるそうです。

カエデ科に属する落葉高木です。開花期は3〜4月で、新芽が吹く前に赤い花を咲かせるのでこの名があります。この木は地域の人々に大切に育てられてきました。皇さんは、木の周りは聖域で、裸足でなければ入れないと教えられたと話してくださいました。また同様に、南花沢町にも聖徳太子が帰りにお箸を刺し、木が生えてきたという伝説があるそう。

※山号…寺院の名前の上につける称号



「皇」は本来、一文字で「すめら」と読みます。しかし、聖徳太子伝説のハナノキを皇木と言ったことから、「すめらぎ」の「ぎ」がきているそうです。

皇という名字がいつから存在したかについては、ペリーが来航した頃（安政）にはもう、書物に皇華という名前が表記されていました。それ以前は不明ですが、皇さんは江戸時代中ごろからある名字ではないかとおっしゃっていました。はつきり分かってるのは、お話を伺った皇さんの曾祖父の代からだそうです。また、明治30年（5代目）以降に名字を変えた可能性もあります。

全国に「皇」さんは約10人おられるそうで、皆さんのルーツは浄願寺であるとのこと。お話を伺った皇紀夫さんの世代は名字のルーツを

おまけ話

皇さん一族は、八日市高校と関係が深いそうです。生徒としても、教師としても関わってこられました。お話を伺った皇紀夫さんは元八日市高校生で、柔道部に所属しておられました。取材した時にも二人八日市高校生がいたので、八日市高校の話で、大変盛り上がりました。



coffee

ひがしおうみで こだわりのコーヒーを いかが？

こぼこぼこぼ……という音とともに
コーヒーの香りを嗅ぐだけで、何だ
か幸せな気持ちになります。そんな
贅沢な時間を味わえる東近江のコー
ヒー屋さんを紹介します。



coffee



高校生ライターから一言



今回の経験は、東近江市の事を知る良い
機会でした。歴史や伝統を守ることや地
域の発展には、住民の協力が必要です。
今回の経験をもとに、これからもさまざ
まなことにチャレンジしたいと思います。

村松 琢真



最初の方はやりきれるか少し不安もありま
したが、最後まで楽しく活動できました。
自分の一言が企画化してしまうとは…。
もし来年もあるならまた参加したいなあ。

小椋 悠矢



この活動に参加するきっかけは少しの好
奇心のみで、当初は不安もありましたが、
活動を重ねていく度に東近江市の素晴ら
しさを知ることができ最終的に楽しさが
勝りました。参加させていただきありが
うございました！

古田 愛恵



僕は住んでるだけで自分の市のことを知っ
ている気になっていたけれども、実は知
らないことばかりでもっと知りたくなりま
した。また、市の職員や地域の方々と交
流するというあまりできない経験ができ
てよかったです。全体を通して東近江市
のことがもっと好きになりました。

善福 耶天



私は、人見知りな性格なので、初めの頃
は、緊張で上手く話せませんでしたが、
高校生ライターの和やかな雰囲気次第
に溶け込める様になりました。

この取組を通して、私は普段は気づかなく
ても、身近に長い歴史や素敵な場所があ
ることを知りました。

そして、もっとたくさんの方に、東近江市
の魅力に気づいて欲しいと思いました。

川西 未紗



高校生ライターのみなさん、お疲れ様でした！



「将来は、お客さんの顔を見た瞬間に好みのコーヒーを淹れられるようになるのが夢」と藤原さん

藤原さん特製の「しあわせシフォン」



美味しいコーヒーを淹れるコツは、最初の蒸らしと、最初から最後まで3分で淹れること

好みのコーヒーの味を伝えれば、豆を選んでもらえます。



タテベコーヒーロースターズ



赤い扉と「しあわせ行き」のバス停が店の目印



最先端のマシンで、好みの煎り具合で焙煎。約10分で焼きたての豆が完成

タテベコーヒーロースターズ

東近江市建部下野町273
☎ 0748-22-2339
水～金 14:00～18:00
土・日 10:00～18:00
月・火曜定休

question

東近江のおすすめはどこ？

太郎坊宮の頂上
頂上から市内を眺めるだけで気持ちが良いです。

赤い扉が目印の築100年の古民家を、オーナーの藤原清さん自ら、梁や壁を塗り替えて改装。世界で5%しか流通していない、生産者の顔が見えるスペシャルティコーヒーと、藤原さん手作りの「しあわせシフォン」がお店の自慢です。お客さんの好みを聞いて選んだ豆を挽き、1杯ずつ淹れてくれるので、待ち時間もコーヒーの音と香りで楽しめます。「良い豆を、焼きたて（焙煎）、挽きたて、淹れたてで飲んでいただくのが一番。それでしあわせな気持ちになつて帰ってもらいたいんです」と藤原さん。シフォンケーキを口にするるとやさしい甘さが広がって、思わず笑みがこぼれます。

エンジニアとして働いていた頃はパソコン作業の日々でしたが、早期退職して主夫になり、奥さんに毎朝コーヒーを淹れるのが日課になったそう。「歳をとると、恥ずかしくて。だから、コーヒーが『いつらつしやい』の代わり」。コーヒーを飲みながら、義母の手芸作品を見てもらう場所を作ろうと思ったのがお店のはじまりです。「昔は人と話すのが苦手で。コーヒーを淹れたら知らん顔だったけど、お客さんから声をかけてもらったり、イベントに出展したりして、だんだん話せるようになってね」そう笑顔で話す藤原さんの優しい人柄がコーヒーから伝わり、しあわせな気分が赤い扉を後にしました。

五個荘金堂地区の町並みを進むと、白いのれんのかかったお店が。自家焙煎のコーヒーが楽しめる「珈悦焙煎処」です。オーナーの吉澤和子さんは、コーヒー教室で焙煎体験をしたことがきっかけでコーヒーの魅力にはまり、10年前に京都の窯元と共同開発して家庭用焙煎器を作製。この焙煎器が使える場所を構えたいと、縁あって五個荘の古民家でお店を始めました。お店の魅力は、近江上布の麻布フィルターを使いオーガニック豆で淹れるコーヒーと、豆の焙煎体験ができること。「『コーヒー豆は黒いもの』と

ことを知ってもらって、自分で焙煎して飲むおいしさをぜひ知ってほしい」と吉澤さん。自分で焙煎した豆を自宅で楽しめるよう、ミルで豆を挽き、ドリッパパックに加工するところまで出来るので、初心者でも安心。体験後、苦手だったコーヒーを克服できたお客さんもおられるのだそうです。みなさんも、焙煎したての味と、だんだん日が経つにつれて深みを増す味の変化を楽しんでみませんか。



こうえつばいせんしょ 珈悦焙煎処



家庭用焙煎器「Candy」を使って焙煎体験ができます（要予約）。「カラカラ」と豆が躍る音がかわいい。煙がもくもく出て「パチパチ音」がしてきたら焙煎ができた合図



毎週変わる手作りケーキはコーヒーと相性バツグン

こうえつばいせんしょ 珈悦焙煎処

東近江市五個荘金堂町522
☎ 090-3995-8898
10:30～17:00
木～土、第2・4日曜営業

question

東近江のおすすめはどこ？

五個荘金堂地域の鯉
毎年行われる品評会に行くと、鯉の大きさにびっくりします。



てづくりのワッフル・サンドイッチをどうぞ！
やおたね



ほんのり甘いモチモチの生地がたまらないワッフル。カスタードやチョコ、バナナなど10種類以上あり、注文することもできます！市役所内『Mitte』でも販売しています。



question

東近江のおすすめはどこ？

柴原南町の山

昔はマツタケがかごに何杯も取れて、お客さんとマツタケパーティ！をしたのだそう。

やおたね

東近江市今堀町137-3
☎0748-25-0180
7:00~21:00
第1・3・5木曜定休



「八百屋をしていた種吉さん（初代）のお店」から、その名がついた『やおたね』。八百屋さんから和菓子屋さん、本や雑誌の卸しなど形態を変えながら、コンビニの先駆けとなった大手パン屋のチェーン店として今のお店を始められました。ワッフル、サンドイッチ、お弁当など手作りの食品が人気です。「そこらの編集メンバーにもファンが多く、「小さい頃から今でもワッフル食べてるなあ」「親子とも好きでよく一緒に買いに行くよ」などの声が多数。色んな人の思い出の中にやおたねさんが存在しています。

昔から変わらぬサンドイッチの美味しさは、3代目の谷喜代治さん（御年90歳！）の味。今も現役で朝4時に起きて作られています。ご家族の愛情が詰まった手作りワッフルやサンドイッチ、お弁当。食べると優しさが口いっぱいに広がります。

まちのいつもの
おみせやさん



左から、『やおたね』四代目店長の谷俊幸さん、三代目・谷喜代治さん、その娘さんの谷晶代さんと前田尚美さん。今でもご家族が協力してお店をされています。

そこへ行くと、なんだかほっとする。

いつもの場所、いつもの人、いつもの味……

暮らしに寄り添い、地域に愛される まちのおみせやさん。

市内の2つのお店でお話を伺いました。



マグロの解体ショーを月に一度開催。60～100キロの大型物をさばく姿は迫力満点



ボリュームたっぷり海鮮丼



三代目店長・福岡竜也さんおすすめの全国こだわり食品がたくさんあります。

question

東近江のおすすめはどこ？

太郎坊宮山頂のモミジ

ショッパー桜川

東近江市桜川西町119-1

☎0748-55-0023

9:30～19:00

月曜定休

おきくさんのおもいにこたえて...

地域を走る！ 移動販売車



昔から最前^{ひまき}にしてくれているお客さんも高齢になり、お店に行きたくても買いに行けない方もいます。そうしたお客さんのために新鮮な魚や馴染みのお惣菜などを載せて、移動販売を行っています。移動販売車は全部で3台。蒲生地区を中心に、週5日火曜日～土曜日に運行しています。日程についてはお店までお問合せを。



移動販売車がとまると楽しみに待っていたお客さんがたくさんやってきます。車内の商品は生鮮食品も含め400品目以上あります。



ショッパー桜川



お店の中には大きな水槽が。色々な魚が泳いでいます。

元は『魚鶴商店^{うおづる}』という魚屋さんだった『ショッパー桜川^{さくらがわ}』。魚売り場には、ほかのスーパーではあまり見かけない魚もたくさん。（この日はヤガラ、ホウボウ、ウマズラ、メダイなどがありました！）「お米や野菜はみんな作っているけれど、内陸のこの地でお客さんの欲しいものはやっぱり魚や肉で。それでも魚を多く仕入れているんです」と店長の福岡竜也さん。八日市の公設市場だけでなく、週に2回、舞鶴の漁港に行つて、定置網にかかつてセリに出される前の魚を地元の漁師さんから直接仕入れ

ています。だから普段出荷されず、現地の人しか食べない珍しい魚が新鮮な状態で並ぶので、それを求めて遠方から買いに来るお客さんもいるのだそう。また、イートインコーナーもあり、安くて美味しいお魚定食を目当てにランチに来るお客さんも多いのだとか。ほかにも、全国から取り寄せたご当地商品や地酒、パンなど、ほかでは見かけない商品もたくさんあります。「全国でがんばっている製造メーカーを選んでいきます。『こんな商品があるんや』と楽しんでほしいです」。





パパのお悩み…

休日に子どもとどこへ出かけよう？

あめ 雨 もり

雨
×
子
守
り



撮影：市役所職員
たにさん

そもそも雨の日に
外へ連れ出さな
いといけなの？

雨の日だからこゝ家
の中でお父さんが子
どもの世話をし、
お母さんは家事を
集中してこなしたい！

子どもは皆、外へ
行きたいのかな？



『ぐるりの家』に来られていた
お母さんたち

たのしいよ!!

これを考えることは嬉しいことであり、大
変でもあります。特に雨が降っていると、
外で思い切り遊ばせることもできません。
「雨の日はどうするか」……。

意見を参考にしようと、『ぐるりの家』で
行われた「カー探偵事務所」へ参加
しました。これは、子どもを持つ親（主に母
親）が日頃の悩みを話し、交流を深める
企画です。主催者をはじめ、取材の私
たち2人以外は全て女性とその子どもた
ちという状況の中、趣旨を伝え、意見を
求めると……!?

市役所職員
たなかさん

みなさん
どうでしょうか…?

企画の趣旨を根底から覆す意見が多
数でした（苦笑）。

なら子どもだけでなく、その周りにお
母さん、お父さん、おじいちゃん、おば
あちゃん、色々な人が一緒に楽しむこと
ができる場所ってどこだろう？そうしたこと
を考え、4つの場所をえらびました。

ひがしおうみ
朝夕景



聖徳太子にゆかりがある瓦屋禅寺。
奥深い歴史が薫るこの寺院の丘の上に立つ金色大慈母観音像の付近から、
鈴鹿の山に昇る朝日を眺めることができます。
観音様の祈りのもと、東近江市の安寧の一日が始まります。

建部瓦屋寺町



蒲生野の古刹、梵釈寺。
10月から12月末までお寺の門から参道に一本の光の道ができるそうです。
その時期でも、気象状況や、夕日の傾き具合で見られるのはわずか数十分ほど。
見ることができたら、何か御利益がありそうです。

蒲生岡本町





おはなしのろうそくに灯りをともし
おはなし会がスタート★

永源寺図書館

大きく吹き抜けた天井近くにあるガラス窓から空の見える、開放的な雰囲気のある図書館。「トトロのへや」で毎週土曜日におはなし会を行っています。



晴

館内から中庭「子どもの庭」へ出て芝生の上で遊ぶこともできます。ちょうど良い広さでのんびり。

雨

小さな子どもたちのお気に入り「トトロのへや」。靴をぬいで上がり、カブラで遊んだり本を読んだりできます。



永源寺図書館
東近江市山上町830-1
☎0748-27-8050
10:00～18:00
月・火曜、祝日休館



晴

施設の隣は「50年森」と呼ばれる森林で、遊具もあります！

雨

2階の児童センターは0～18歳まで幅広い年代の人が利用できます。卓球や手作りおもちゃなどで遊ぶことができ、交流の場にもなっています。



**東近江市福祉センター
ハートピア**
東近江市今崎町21-1
☎0748-24-2940
9:00～17:00
月曜・第3日曜、祝日休館



こちらが小さな
子ども向けのお部屋！

東近江市福祉センター ハートピア (児童センター)

地域の福祉活動の拠点として児童センターのほか、老人福祉センター、母子父子福祉センターなどの機能があります。赤ちゃんからお年寄りまでみんなが楽しく過ごせる場所です。

晴

晴れている日には屋外の大きなへら鮒の釣り堀で、大物を釣り上げることができます！タナゴの釣り堀もあります。



雨

室内にも釣り堀があり、こちらでは鯉や「金魚すくい」ならぬ「金魚釣り」ができます。定期的に「金魚釣り大会」も行われています。



つりぼり トム・ソーヤ
東近江市瓜生津町宇東大野2-2
☎0748-24-3006
4～9月 6:30～16:30
10～3月 7:00～16:00
火曜定休（祝祭日は営業）

初心者や子どもでも気軽に楽しめる釣り堀。手ぶらで来てもOK。釣り教室もあります。

つりぼり トム・ソーヤ



おおきな金魚つれにょ！

こども交通公園



かたごんごん かたごんごん
でんしゃが通りまーす

晴

屋外ではアスレチックで遊んだり、キッズトレインやEVカーのドライビングコースで運転ができます。

雨

室内にはおもちゃの他、ラジコントラックタウンのコーナーも。交通ルールも教えてもらい、ラジコンに取り付けられたカメラ映像を見ながら操作します。



こども交通公園
東近江市平柳町22-3
☎0749-45-3850
10:00～16:30
火・金曜休園

★スケジュール

- 16時 チェックイン
・ドキドキしながらドアを開けるとウェルカムボードに「おかえり」の文字！
- 16時15分 お茶を飲みながらティータイム（自己紹介）
・自家製の無農薬のお茶で緊張も解けてほっこり
- 17時 夕飯作り
- 19時 夕飯（巻き寿司、鯛ソーメン、白和えなど）
「みんなで食べると美味しいね」
- 20時 入浴後、カロム・オセロ初体験
「カロムって何？初めて見る!!」
- 22時 就寝
「また明日。明日は5時に起きるから!!」



お茶うけの「栗の渋皮煮」はなんと！おじいちゃんの手作り

朝からこんなご馳走食べられるなんて幸せ



これブドウ？え！ブルーベリーってこんなに大きい？



- 7時 起床、朝食作り
「おはようございます！5時に起きようと思ってたのに」
「なんだかいい匂いがする。お腹すいてきた!」

- 8時 朝食（焼き鮭、キンピラ、みそ汁など）
「私が作ったごはん、美味しい」
- 9時 ブルーベリージャムづくり
・雨の日だって楽しめる！
- 10時 チェックアウト
「バイバイするの寂しい」



★子どもたちの瞳がキラキラ

家ではテレビやゲームばかりの子どもたちが、時間も忘れて自分からご飯づくりを手伝ったり、農家民泊のおじいちゃんおばあちゃんにくっついてお話を聞いたりして、いつもは見ることができない、キラキラした特別な瞳をしていました。

普段なかなか家族の時間が持てないけれど、ここではじつくりと子どもたちの成長を見ることができ、ゆったりとした時間を過ごすことができました。

まるで本当の家族のように接してくださる茂太郎さんとたみ子さんに、自然と甘える子どもたちを見て、なんだか実家に帰ったような気持ちでほっこりすることができました。

ただいまステイ東近江
運営委員会事務局
(一社) 東近江市観光協会

八日市緑町25-4
☎ 0748-29-3920
農泊料金
1泊2食（1人当たり）
大人（中学生以上）
10,450円
子ども（3歳～小学生まで）
8,250円

あっという間に
終わっちゃった。
また来たい！

はじめての農家民泊



おじいちゃん
おばあちゃんって
よんでな

「おかえり」の
文字がうれしい！

東近江で
続々登場している
農家民泊。
どんなところなのか、
子どもたちと一緒に
取材してきました！

★農家民泊ってなあに？

農家の方が自宅を宿として提供する新しい形の宿泊施設です。利用者は農作業を体験したり、農家の方が作った作物を食べることで、その土地の習慣や文化をより身近に感じることが出来ます。

その家の家族と一緒に食事を作ったり、散歩したり、普段の旅とは違った非日常を楽しめます。

★お邪魔したのはこちら

愛東地区で、平成22年から受け入れをしておられる植田茂太郎さん、たみ子さんご夫妻の「愛のまち さんしゅゆの宿」。笑顔がとっても素敵なお二人は、年間50～60件のお客様をお迎えされています。中学生の教育旅行や家族連れをはじめ、最近では約半分が外国のお客様という人気のお宿です。



カロムは彦根で生まれた
ボードゲームだよ。やり
方はこうやって……

もう一回！
次は勝ちたい～



とっても豪華！

ちょっと苦手な
お野菜だけど、自
分で作ったら食べ
られる……かも

今日、だれかの
お誕生日なの～!?



エプロン着けて張り切って
お手伝い。
(家とはちがう～母談)

伝えたい!届けたい!

Instagramで
まちの魅力を



僕もそこから眺めてみたいと思わせる一枚です。(阪江さん)

私の好きな東近江市を届けたい!

普段Instagramに東近江の様子を投稿されている皆さんが集まって、それぞれのイチオシの写真を紹介し交流する「インスタ交流会」を行いました。



交流会の様子



アドバイス：亀口美穂さん

滋賀県内最大のwebメディア「しがトコ」の元編集長。結婚を機に滋賀に移住、滋賀の魅力にどっぷりはまり、この魅力をみんなに伝えたいとの思いで「しがトコ」を始める。しがトコのインスタ運用については、「滋賀らしさや色彩、透明度などを意識して写真を選びます。あと、写真にぴったりのコピーをつけるのも大切」とのこと。

ひがしおうみ
朝夕景

いつもたくさんの人が訪れる道の駅マーガレットステーション。その賑わいも薄れ、明かりがとまりだす頃、空は赤く染まり、短いマジックアワーがはじまります。夕日は、あっという間に湖東平野に沈むので、日没の30分ぐらい前から見頃です。



妹町



カッコいい近江鉄道を撮りたくて花火とコラボしてみました。(masa1328さん)

百済寺、光の差し込む瞬間。(山本さん)



東近江市内で栽培している季節のエディブルフラワー(食用花)です。(87farmさん)



旧八日市市の人たちにとって、この山(太郎坊山)の見える風景は当たり前であり、またこの地を離れた人たちにとっては懐かしい。そんなランドマーク的な光景だと思います。琵琶湖が滋賀のマザーレイクなら、東近江(特に旧八日市)にとってはマザーマウンテンだと思います。(なかむら義宣さん)

田植えの時期、猪子山から見ることのできる東近江のスカークレットです。(近江だるまさん)





一人が乗り、一人が追いかけます。



水は美しく、景色が素晴らしい！

いざ出航！だがしかし…。



あかんやん。
二人乗ったら沈むやん

スタート地点付近には、急な流れが多く、まるで溪流下りのよう。やがて流れは緩やかになりましたが、いかだを漕ぐ者にとって、ごつごつし

■スタート↓永源寺ダム手前まで
いかだを下ろししやすい場所を探し、蓼畑^{たてはた}付近から川へ入ります。真夏でも水温が非常に低く、また透き通っており、とても気持ちがいい。しかし、ここで問題が。数週間前からずっと天気がよく、川の水量が思ったよりも少なかったのです。当初の予定は、2名が乗船し、颯爽と川を下るといふものでしたが、水位が低く、縦横約2メートルのいかだでは浮力が足りません。二人乗ると沈むのです。結果、一人がいかだに乗り、もう一人が側で泳ぎながらサポートをするという形で開始。

途中でほかの2名と交代。交代ポイントでは、川の流れがほとんどなく、いかだを漕ぐ者の力量が試されました。側でサポートする者も、先ほどとは違い、いかだのスピードにあわせて泳がなければなりません。大変辛いポイントではありませんが、この付近は木々の中を川がゆったりと流れる絶景ポイント。美しい水と景色が、疲れを癒してくれます。ここで、永源寺ダムの手前まで到着し、いかだをピックアップ。再スタート地点までいかだを運んでいきました。



愛知川は永源寺を過ぎると、一部の表流水をのぞき、ほとんどが地面の下に潜り込み、地下水となって琵琶湖へと流れていきます。(水の流れが弱く、川下りにはとても不向き) 愛知川の中流部には、大きな扇状地^{せんじょうち}が広がり、河辺林^{かへんりん}の一部は「河辺いきものの森」として大切に残されています。

いい大人ですが…。

僕たちトムソーヤの冒険！

永源寺から琵琶湖までの川下り編

Map



川下りチーム……栗田、齋藤、庭田、田中
松浦 (撮影・サポート)



そこら編集会議にて一人の編集委員が言いました。「永源寺から琵琶湖までカヌーで川くだりをしよう！」と。すると、別の一人が言いました。「カヌーなんかあかん！いかだで川くだりや！トムソーヤの冒険みたいやん！」
みんなの冒険心に火が付きまし。東近江を川で横断し、大自然を体感しようと、5人の川下りチームを結成。決行したのは8月の真夏日。材料となる杉の丸太は永源寺森林組合で購入しました。さて、早速いかだ作りの開始です。立派な丸太をのこぎりで切断し、組み合わせていくのはとても楽しい！「こうした方が頑丈になるでしょ！」とロープの結び方など随所に工夫をこらし、無事完成。出来たいかだを、そこら号と命名し、真っ赤な旗をたて、いざ川下りへ！

たいかだの上でバランスをとりながら、パドルを操るのは非常に難しく、油断をするとすぐにひっくり返りそうになります。サポート側の者は、川の流れに身を任せ、周囲の大自然を満喫。

そこら号が…！

再スタート



大瀧神社

永源寺ダム

スタート

交代



●ちょっと真面目なこぼれ話

直径15センチ全長2メートルの立派な丸太がなんと1本400円で購入できました。その安さに喜びながら、人件費などを考えるとこの価格では採算がとれないのでは…と、心配になります。これから林業の振興を応援したいです。



石にぶつかりながら…

岩の間をなんとか、通り抜けます。

水を含んだいかだの重さは想像以上。

■八風の湯↓愛東エリア

再スタート地点を八風の湯付近の川辺に定め、軽快にいかだに乗り込みました。しかし、下流に行くほど浅瀬となり、水量も減っていきまます。ごつごつした石がそこらじゅうにあり、いかだに乗ることができず、手で引きずりながら進みました。水を含んだいかだはとても重く、この作業がすごく大変。

このエリアは、浅瀬でも川の流れる速く、足場が悪い場所でした。石にはコケが多くついており、みな一様に滑って転んで、川に流されそうになります。水難事故はこうのようにして発生するのだと、あらためて川の恐ろしさを実感。

順調に「川下り」ではなく「**いかだの川くだし**」を行っていた我々ですが、なんとここで大問題が！

■能登川エリア

新たな出発地点を探し、能登川付近まで車で移動。

永源寺から琵琶湖までの川下りというチャレンジをするなか、この記事をお読みの方の中には「愛東エリアから能登川エリアって途中をずいぶんとばしたなあ」と思う方もおられるかもしれませんが、そうではありません。単純に水量がほとんどなく、「川下り」や「いかだの川くだし」どころではなかったのです。

能登川エリアでは、なかなか川まで近づけるポイントがなく、結局愛知川橋まで移動し、いかだを復元することにしました。このエリアは、水量もあり、石もありませんでしたが、水質の悪さが気になりました。水が濁っていて入水することをためらう気持ちを断ち切り、岸边から

石に何度となくぶつかったことにより、**いかだに限界がきて、バラバラに分解してしまった**のです。いかだがただの丸太に変わってしまった瞬間、企画中止という最悪の結果が脳裏をよぎりましたが、我々はあきらめません。バラバラになった丸太を回収して組み直し、再び冒険に挑みました。



そいや！

いかだを力の限り押し、川を下る「川くだし」！（こんなはずではなかった…）



ネバーギブアップ！



そこら号が分解…。(涙)

ひとおもいに川へ飛び込み、はるか先に見えるゴール（琵琶湖）を目指していかだを漕ぎ進めました。流れが穏やかな分、漕ぐ技術が求められます。手作りいかだ特有の不安定な船上でパドルを操ることがどれほど難しいことか。また前半の川と違いこのエリアは、川幅が400メートルほどあり、その中を一人でゆっくりゆっくりと進んでいくことになり、孤独と疲労が同時に襲ってきます。腕の痛みはすでに限界。しかし、ふと岸辺を見ると仲間たちが手を振り、応援してくれています。その声援を力に変え、**無事ゴール！**「永源寺から琵琶湖まで」。その壮大なスケールを体感しつつ、移り変わる川からの眺めの中に、豊かな自然とその厳しさを感じたトムソーヤたちでした。



ついに琵琶湖へ…。

※注 今回の取材は専門家のアドバイスのもと行ないました。真似をしないでください。



ゴール！

東近江には石段の多いお寺や神社がたくさんあるけれど、一番段数の多いところはどこでしょう? そのなぞを探るべく、いざ調査開始!

眺めはどこも No.1 /
段数はどこが 1 番?

石段くらべ調査隊



猪子山

北向岩屋
十一面観音

1046段

猪子山の頂上にある北向岩屋きたむきいわや 十一面観音じゅういちめんかんのんに行くルートは二つあり、行きは石と木の階段の山道を、帰りは石段の参道を歩きました。木立の間隙から見える景色は、気持ちを涼やかにしてくれます。およそ 30 分で頂上に到着。段数は 1046 段! しかしほとんどが石段ではなく丸太でした。頂上から初秋の田んぼと琵琶湖を眺めた後、きれいに整備された参道の石段を下りました。段数は 450 段でした。

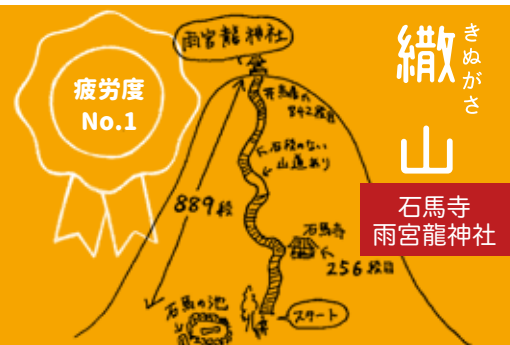


赤神山

太郎坊山
太郎坊宮

740段

勝運と幸福を授ける太郎坊宮。高さの揃ったきれいな石段は明治・大正期ごろに整備され、職人が山のふもとから一つ一つ上へ上へと積んだもの。その昔あった野面積みの石段は、今もその下に埋まっているそう。太郎坊宮の本殿までの段数は公称で 742 段ですが、この日数えてみると 740 段。神主さんいわく、そうした違いは「天狗さんのいたずら」によるものだそうです。



織山

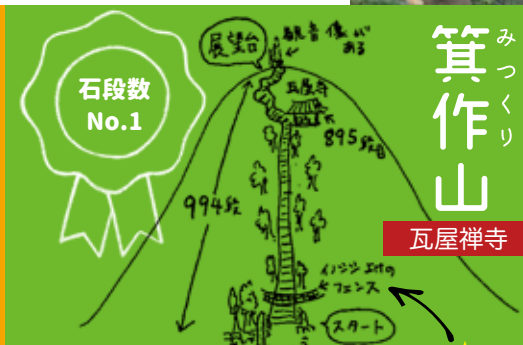
石馬寺
雨宮龍神社

889段

織山のふもとから中腹にある石馬寺を経て山の頂上にある雨宮龍神社へと続く苔むした石段。傾斜はなだらかで、自然と歩調は軽くなります。木立を抜けて、256 段目で石馬寺へ。そこからさらに雨宮龍神社への石段が続きます。石馬寺を過ぎるころから、なだらかだった石段は不揃いな石が増え、土の道が現れて傾斜も次第にきつくなります。石段を上りきると、目の前に



立派な鳥居が現れました。白木の鳥居をくぐり、残り 40 段ほど上ると、雨宮龍神社に到着。ふもとからの段数は 889 段!



箕作山

瓦屋禅寺

994段

箕作山山系めいさつ かわらやぜん じの名刹 瓦屋禅寺。今は車道で門前まで向かうのが一般的ですが、実は山の麓から石段の参道が続いています。驚くのは、その踏み幅の広さ。一つ一つ石を積むこの野面積みの石段づくりにはいったいどれほどの人々が従事されたのでしょうか。かつては僧坊などもあったのでしょうか。左右には時折石垣も見られ、その規模の大きさに驚かされます。さて、気になる石段の数は…994 段!

★ 獣害フェンスは、開けたら閉めてください。



ドライブウェイでの参拝が基本のため、石段は十分に整備されていない箇所があります。気をつけて上ってください。



神主さんよりご神火を頂きます



緊張した面持ちの晴くん



市原野の まんどろう火祭り

伝統行事探訪

まんどろう火祭り (8月15日)
市原野町・白鳥神社

君とそれぞれのお父さんが儀式に臨みます。菜種木で作った「みみず」にご神火を頂き、集落の南にある万灯山へ向かいます。山頂には「丸ト」と呼ばれる神木が組まれており、そこで、提灯に移した火を運び、下ってきたところで松明に点火します。担ぎ手さんが「道中伊勢音頭」を唄いながら、巨大な「上がり松明」を点火場所まで運んでいきました。鉦と太鼓のリズムにのって、堂屋敷の広場に一番乗りしたのは、子ども松明。体の倍程もある燃える松明を担いだ男の子たちは、背負い棒をぐるぐる振り回し、声援を受けながら、松明が燃え崩れるまで勇姿を見せていました。続いて、各組の松明9基が次々に入場してきます。煙が立ち込め、辺りは火の海です。燃え落ちる松明や青竹が爆ぜる音の中、いよいよ晴

「まわれ！まわれ！」掛け声に合わせ、大うちわが煽られると、赤々と燃える松明から激しく火の粉が舞い立ち、辺りに降り注ぎます。市原野町の火祭り「まんどろう」「まんどろう」はお盆の精霊の送迎に燃やす松明のこと。数え年7歳から15歳の男の子が中心となって行います。年を重ねるごとに松明は大きくなり、15の年には特別大きな形の「上がり松明」が作られます。今年の主役を務めるのは、中学3年生の15歳、西村晴君。祭りの日の朝、松明作りをしているところで心境を尋ねると、「小さい頃からやっているけど、(主役の) 上がり松明は少し緊張する」と話してくれました。作業場では地域の男性が20人くらいで松明作り中。松明は菜種木を円筒形にまとめ、縄で整え、麦わらできれいに仕上げられたもので、中心

君を筆頭に「上がり松明」が登場。水で濡らした麦わら帽やヘルメットを火の粉よけにかぶり、バケツで水をかける役もいますが、担ぎ手さんたちは松明から火が燃え移りそうな距離。広場の真ん中に立てられた松明は、大うちわに煽られて火の粉を撒き散らし、勢いを増した炎がすべて焼き尽くして燃え落ちるまで、夜空を焦がします。祭りのあと、広場や神社から万灯山までの道を掃除する仕事は「上がり松明」の親子の務め。直後に一度、翌朝にもう一度きれいなったか確認するそうです。大役を果たした晴君は「手伝ってもらったみんなのおかげで無事終えることができました」と語ってくれました。市原野にまた一人、頼もしい若人が加わりました。

夜7時。白鳥神社で祈禱の神事が始まりました。晴君とお父さん、来年15歳になる野田陽多君、安田雷生



部に青竹の背負い棒が取り付けられます。美しく燃え落ちるように作るコツがあるそう。男の子たちが各自背負う子ども用松明は直径50 cmくらいですが、「上がり松明」は、直径150 cmくらいの大きさです。これを晴君が先頭で引っ張り、ほか15人ほどで担ぎます。



T字尾根からテーブルランドへ到る道。

加藤先生に導かれて、
いざ登山！
気合がみなぎります。

「あっちを見て」「うん」

●いざ、登山開始

足元は登山靴、持ち物は地図、コンパス、雨具、水1.5ℓ、お弁当と非常食です。

君ヶ畑町の小又谷駐車場奥にあるT字尾根登山口から登山を開始。「最初に結構急斜面が続くから無理をしないでね」と何度も言われていたのですが「これくらいでもない、いける！」と思い登り始めました。しかし標高約600mから878m地点まで続く急斜面のきつさは予想以上でした。そこを過ぎてしばらくは緩やかなT字尾根歩きが続く少しホッとしみます。ブナ林が広がり雰囲気もいい感じ。足元には葉の表面が艶やかに輝くイワカガミも見られます。そして918ピーク地点で休憩。ここまで約1時間。「やっと918mか、頂上までまだまだあるやん」と心の中で思いました。



鈴鹿10座最高峰の御池岳を登る

愛知川の源流を求めて



富田隊長

東近江市制10周年（平成27年）に、東近江市が誇る鈴鹿の山々の素晴らしさをより多くの方に知ってもらおうと鈴鹿10座が選定されました。鈴鹿10座に選ばれた山はどれも東近江らしさを備えています。この「東近江らしさ」とは、東近江市に登山口があることや、古くから東近江市の人々の暮らしと深い関わりがあること、また地域の中央を流れる愛知川の元となる複数の河川（御池川、茶屋川、神崎川、佐目子谷川、洪川）の集水域となつていているといったことが条件として挙げられます。

私は以前から「愛知川の源流はどこにあるのか」と、その源流を「ぜひこの目で見たい」という願いを持っていました。今回は良いタイミングと自分に言い聞かせて人生初めての本格登山にチャレンジすることにしました。

●登山成功のカギは事前計画にあり

「鈴鹿10座の最高峰である御池岳に愛知川の源流があるはず」と狙いを定め、私、富田が仲間とともに標高1247mの御池岳を登ることにしました。

登山初心者の中にはガイドが不可欠です。「そうだ！加藤先生だ！」地元のエコツアー登山ガイドの加藤紳一朗さんは、実は私の中学時代の恩師でもあります。

加藤先生に「愛知川の源流を見たんです」と熱い気持ちをぶつけ、登山計画を練ってもらうようお願いしました。そして、1日で源流探索も御池岳登山も満喫するという贅沢なプランを組んでもらいました。御池岳の登山難易度は中級～上級者向けということでしたが、体力には自信があつたため「なんとかやる」と甘く考えていました。

山登りチーム……加藤、富田、羽泉、田中、古澤



頂上からの眺望。



ボタンブチから天狗堂とその向こうに日本コバ



源流発見!?

加藤先生の指さす方角をみると、話に聞いていた「ボタンブチ」(石灰岩の白く大きな崖。昔ここで猪を追いかけて崖から落とし猟をしていたといわれています)が見え一同興奮。不思議なものでなんだか体力が回復するのでした。

●源流発見か!?

ここから山頂を目指しさらに進んでいたその時、田中隊員が「源流じゃないですか、これ」と声をあげました。顔を向けると右側の谷に小さなせせらぎらしきものが。しかし「え?こんな急斜面おりていかな確認できひんやん!」目の前には足を滑らせれば下に落ちてしまいそうな斜面、ですが皆の自らの目で見たいという気持ちで勝り、田中隊員を先頭に谷へと下りて行きました。せせらぎを見て加藤先生も「源流の一つだろう」。

こも御池川が始まっている一つの沢なのかもしれないね。これは発見です!しばし源流となる沢を観察し喜びましたが、この戻りの斜面登りはきついものでした。

●「テンプルランド」に到着

再び山頂を目指して黙々と歩を進めます。登ること約2時間、頭上には一面の青空が広がっていました。いよいよ山上の広大なテンプルに到着。一面にひろがる南北3km、東西数百mにも及ぶ山頂部はテンプルランドと呼ばれ、多くの池や窪地、石灰岩の岩が点在しています。まさに「天空の日本庭園」の名にふさわしい光景。感動して写真を撮っていると、「もっと奥には良いところがあるから早く」と加藤先生に引つ張っていたきました。



●「ボタンブチ」からいざ山頂へ

続いてボタンブチに到着。ここからは、琵琶湖をはじめ、三上山や太郎坊山、荒神山、湖北エリアまでも見渡せます。東近江市を見守っているという?猿岩(加藤先生命名の岩)も見えました。

そしてとうとう、山頂に到着!そこで待っていたのは琵琶湖から伊吹山や御嶽山、雪化粧している南アルプスの山々までが見渡せる驚きと感動のパノラマビュー。この日は天気も快晴だったので、最高の眺めがご褒美として与えられた気分でした。「地元こんないい山があるんや」

登りのきつかったことなど一瞬で吹っ飛びました。

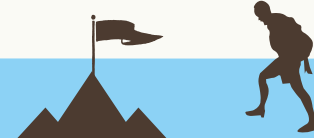
魅力を十分に堪能した一同は大満足で下山を開始。果てしなく続いた

急斜面の下山であったことは言うまでもありません。

●登ろう!鈴鹿10座

今回登った御池岳は三重県側からも登れるのですが、東近江市側からの登山の魅力を加藤先生に聞くと「何と言っても自然の豊かさにつきます。鈴鹿山脈は、傾動地塊と言っています。三重県側は急傾斜で滋賀県側はなだらかですが、複雑な尾根や谷の世帯があります。面積は圧倒的に滋賀県側が広く、それだけ、出会える感動も多くなります」と語っていました。

まだまだ知られていない東近江市側からの鈴鹿10座登山の魅力をもっと発信していかないと、と感じました。なんてったって東近江市が誇る「鈴鹿10座」ですから!





「戦後、日本人は豊かになったけれど、心は豊かでなくなってしまうた」。

はるばる訪ねたイギリスで、陶芸家のバーナード・リーチから言われた言葉に、ずしれいぞう 圖師禮三さんはガツンと頭を叩かれたかのような衝撃を受けました。

永源寺地区にある神職の家に生まれた禮三さんは、ファッションの世界で財を成しました。しかし、精神の世界に生きるはずだった自分が、いつのまにか経済的利益ばかりを追求する人間になってしまったのではないかと不安を感じたのです。その頃より禮三さんは、バーナード・リーチの作品をはじめとする民藝運動みんげいに関連する陶芸作品の収集に、力を入れるようになった。

昭和初期、日本において陶芸の地位は決して高くありませんでした。そんな中、実用品である陶器に美を見出し、「用の美」として陶芸を芸術の域まで高めた功労者の一人が、バーナード・リーチです。素朴さの中に現れる優美さ、東洋と西洋の融合。ぬくもりあふれるその作品は、観る人の心をほっと和ませます。

その貴重なバーナード・リーチの陶芸作品を観ることができなのが、永源寺地区にある日登美美術館です。禮三さんが、ビジネスで得た利益で高級車を買ったよりも、故郷に美しい物を残したいと、平成4年にオープンしました。禮三さんが集めた300を超える作品のうち、約150点を少しずつ入れ替えながら展示しています。

「父は思いついたら走る、動きながら考える人だった」。そう語

るのは、禮三さんの息子で現・日登美美術館館長の岸本邦臣さん。きしもとくにのみ

日登美美術館の隣には独自の生産ワインを造るヒトミワイナリーが併設されています。大のワイン好きだった禮三さんが、民藝品とともに手作りの良さを知ってもらいたいと始めたワイン造り。当初なかなか売れませんでした。ところが、過す前のタンクの中のワインがより美味しいことに気づき、濁ったまま売り出したことから人気が出るようになりました。

「うちは、お母ちゃんの作る家庭料理に合うワインを目指している」。そう語る岸本さん。地元で栽培される生食用のぶどうを使ったワインは、素材本来の風味を生かしたピュアな味わい特徴。ともに販売されるパンも、ワイン酵母を使用して、通常よりゆっくりと時間をかけて発酵させ、旬の食

材にこだわって作られています。

「今の小学生が大人になったとき、今日の夕食はワインとバゲットにしようと思える日があつていいと思う。その時には地元のワインとパンを買いにきてほしいね」。

ヒトミワイナリーがみんなに「楽しみを与える場」であることを願う岸本さん。店内には、ヨーロッパの家庭で使われていた古い家具が置かれており、リーチの作品と同じく素朴な美しさの中に、ぬくもりを感じさせてくれます。

日登美美術館、そしてワイナリーは、目にも舌にも心にも、とっておきの楽しみを与えてくれる場です。



question 岸本邦臣さん

東近江のおすすめはどこ？

政所の満天の星

中学生の時見た、降るような星空が忘れられない。

一般財団法人 日登美美術館 山上町 2068-2 ☎ 0748-27-1707

10:00~17:00 (美術館) / 10:00~18:00 (ワイナリーとパン)
ワイナリーと美術館…木曜定休 / パンの匠ひとみ工房…不定休



こちらからバックナンバーをお読みいただけます
<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/lib>



そくら

第7号
 2020年2月10日発行

編集／そくら編集委員会
 発行／東近江市

【編集協力】
 東近江市立図書館

Special Thanks
 取材に協力いただいた皆様

【問合せ】
 東近江市企画部広報課
 〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10-5
 ☎ 0748-24-5611 FAX 0748-24-1457

東近江市立八日市図書館
 〒527-0028 滋賀県東近江市八日市金屋 2-6-25
 ☎ 0748-24-1515 FAX 0748-24-1323

【編集委員】(五十音順)
 大澤 明・狩野 桃江・栗田 豊一・
 齋藤 民男・佐子 都・嶋村 映利佳・
 菅澤 合敏・橘 良枝・田中 亮・
 谷 佑一郎・富田 隆史・庭田 恭平・
 羽泉 亮太・松浦 純子・森下 瑞美・
 山岡 瑞穂・山口 美知子

【編集委員 高校生ライター】(五十音順)
 小原 悠矢・川西 未紗・善福 耶天・
 古田 愛恵・村松 珠真



この用紙は「びわ湖の森を元気にする」
 kikitoペーパーを使用しています。



紹介させていただいたお店・施設

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ①日登美美術館
山上町 2068-2 | ⑫やおたね
今堀町 137-3 |
| ②永源寺図書館
山上町 830-1 | ⑬タペコヒーローズ
建部下野町 273 |
| ③白鳥神社
市原野町 2128-1 | ⑭瓦屋禅寺
建部瓦屋寺町 436 |
| ④こども交通公園
平柳町 22-3 | ⑮太郎坊宮
小脇町 2247 |
| ⑤ショッパー桜川
桜川西町 119-1 | ⑯御池岳
君ヶ畑町 |
| ⑥梵釈寺
蒲生岡本町 185 | ⑰木地師資料館
蛭谷町 176 |
| ⑦珈悦焙煎処
五個荘金堂町 522 | ⑱浄願寺
北花沢町 296 |
| ⑧石馬寺
五個荘石馬寺町 823 | |
| ⑨北向岩屋十一面観音
猪子町 | |
| ⑩東近江市福祉センターハートピア
今崎町 21-1 | |
| ⑪つりぼりトム・ソーヤ
瓜生津町字東大野 2-2 | |





そこら

第7号

2020年2月10日発行

編集／そこら編集委員会

発行／東近江市